

令和4年第11回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和4年11月24日(木)午後1時30分～午後2時
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等

教育長	玉川 良雄
委員	江口 雄二
委員	白木 正博
委員	林 哲人
委員	木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員

教育部長	河村 貴子
教育次長	今谷 昌博
学校教育課長	藤田 康伸
学校給食課長	小林 政幸
生涯学習振興課長	引頭 康行
図書館長	長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 金子 麻紀
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
 - (1) 報告第27号 第72回下松市民美術展覧会について
 - (2) 報告第28号 第20回「笑顔の写真」コンテストの結果について
- 9 会議の付議の顛末

○教育長 それでは定例会を開催したいと思います。

本日の議事録署名人ですが、江口委員と白木委員さんでお願いいたします。

本日の議事ですが2件ございます。1件目報告、2件目も報告になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 報告第27号 第72回下松市民美術展覧会について

○教育長 それでは、(1)報告第27号、第72回下松市民美術展覧会について、担当課長のほうで説明をお願いいたします。引頭生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 報告第27号、第72回下松市民美術展覧会についてをご報告いたします。資料は1ページになります。下松市民美術展覧会は通称市美展と言いますが、今月

3日文化の日から7日までの5日間、スターピアくだまつ展示ホールにおいて開催いたしました。今年度は139作品、113人の出展がございました。来場者数は750人となっております。

この開催に先立ちまして、市美展大賞、各部門賞、優秀賞、教育委員会奨励賞、各後援団体の賞を決定しております。また、40歳以下の方につきましては優秀なものについてヤングアーティスト賞を決定しております。11月3日の文化功労賞、文化振興奨励賞の表彰に合わせて入賞作品の表彰も行っております。入賞作品の写真、展示目録、審査員の講評につきましては本日資料をお配りさせていただいております。グレーの紙のA3の目録、その間に審査員の講評を挟んでおりますので、ご覧いただけたらと思います。

それから、入賞作品の写真を本日カラー写真で配っております。ご覧いただけたらと思います。

以上です。

○**教育長** ありがとうございます。市美展のほうに行かれた方もいらっしゃると思いますが、これにつきまして質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。白木委員。

○**委員** これは出展数とか来場者数は傾向的に増えつつあるとか減りつつあるとか、どのような傾向なのですか。

○**教育長** 引頭生涯学習振興課長。

○**生涯学習振興課長** 記録に残っている中では、平成の初めのころが1番多くて、現在、今年度で言えばその半分ぐらいの出展数になっております。昨年度は近隣市が中止する中、下松市は行いましたので、少し多くて、今年度は昨年度に比べれば少し減っています。

ただ、4、5年前ぐらいから10年ぐらい前までがかなり少なかったもので、それに比べれば少しずつ増えています。出展者数についてはそのような状況です。

来場者数につきましては、資料がないのですけれども、ここ2、3年はコロナ禍で少なかったと思っております。

以上です。

○**教育長** そのほか。

○**委員** ここ最近で、新顔というか新たに出品された方というのは増えているのですか。

○**教育長** 引頭課長。

○**生涯学習振興課長** はっきりとは分かりません。

○**教育長** 大体同じような方が出品されているのですか。

○**生涯学習振興課長** 同じ方もおられます。若い方も徐々に出てきています。

○**教育長** 出展の基準とかありますか。全く自由ですか。

○**生涯学習振興課長** 資格としては市内に在住、または通勤、通学。下松市内の講座や団体に所属する人、またはグループとなっております。高校生以上であること。ほかは自由です。作品ごとに大きさが何センチ以内とかはあります。

○**教育長** 芸術のレベルについての基準はないのですか。引頭課長。

○生涯学習振興課長 レベルについての基準はございません。

○教育長 ありがとうございます。

そのほかございますか。よろしいですか。ありがとうございます。

(2) 報告第28号 第20回「笑顔の写真」コンテストの結果について

○教育長 続きまして、(2) 報告第28号、第20回「笑顔の写真」コンテストの結果について、説明をお願いします。引頭課長。

○生涯学習振興課長 報告第28号、第20回「笑顔の写真」コンテストの結果について、ご報告いたします。資料は2ページになります。

笑顔が笑顔を呼び、笑顔があふれるまちづくりを目指し、安全安心なまちづくりのため笑顔の写真を集めるというコンテンツを実施し、今回で20回目になります。今年は笑顔部門に171作品、親子部門に24作品の合計195作品の応募がありました。10月26日に一次審査、11月7日に二次審査を行い、入賞作品を決定しております。入賞作品のうち最優秀賞、部門賞、優秀賞については本日資料をお配りしておりますので写真をご覧くださいと思います。

また、12月3日から20日まで、ほしらんどくだまつで全作品を展示しますので、ご覧くださいますようお願いいたします。

以上です。

○教育長 笑顔の写真コンテストについての報告がございました。ご意見等ありましたらお願いいたします。江口委員。

○委員 一次の審査員をした感想ですが、作品数の多い少ない別にして、質が上がってきた感じがします。家族とか、あるいは友達、子供たちの自然な絵がよく出てきているような感じがして、とても嬉しく思います。どんどん入賞されると、作品者も増えてくるという感じがします。

それから、もう1つこのコンテストの皆さんのファイル、毎年作成していただき大変いいことだと思います。ぜひ続けてください。

また、市をPRするファイルがあるといいと思います。どういったファイルかというと、例えば埴輪が出たら、埴輪の写真などニュース的なものとか、あるいは、各地で毎年あるいろいろなお祭りとかを紹介したファイルなどを作成してほしいです。また、観光地のPRとか、市役所が発行するファイルを市民にどんどん使ってもらえるというものができたらいいと思いました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。そのほかございますか。よろしいですか。白木委員。

○委員 これらの写真は加工してもいいのですか。今ごろは何かレタッチとかいろいろある

と思うのですが。

- 委員 加工というのはどういったものですか。
- 委員 背景に要らないものが写っていたら消してしまうとか。
- 委員 それは構わないと思います。
- 委員 構わないのですか。
- 委員 パソコンでやっている人もいます。極端なものはだめですが、そこまで厳密ではないと思います。
- 教育長 このファイルの1番上に笠戸大橋の写真がありますね。
- 委員 作品数が多くなるから写真が小さくなりますね。昔はもっと大きかったです。
- 委員 これ銅像みたいなものもあります。
- 委員 面白い写真がたくさんあります。
- 教育長 引頭課長。
- 生涯学習振興課長 今、お配りしているのは昨年のものになります。今年度のファイルは今から作ります。
- 委員 これは何枚ぐらい作っているのですか。
- 生涯学習振興課長 基本的にはこの出品者数になります。昨年が200何作品、今年度は195ですので、それプラス多少の予備ぐらいです。
- 委員 もし分かれば、大体製作費は、1ついくらぐらいですか。
- 生涯学習振興課長 全体で10万切っているぐらいです。
- 委員 500円ぐらいですね。結構かかりますね。
- 委員 1位は賞金ですか。
- 教育長 引頭課長。
- 生涯学習振興課長 1位は大城の利用券2万円分、部門賞が利用券の1万円分、優秀賞が下松の特産品5,000円相当、入選3,000円相当、参加賞がクリアファイルとなります。
- 委員 さっきの市美展は1位が10万円だったですね。
- 生涯学習振興課長 市美展は市美展大賞が1位10万円です。
- 委員 この市美展大賞というのは1つだけですか。全部門の中から1つですか。
- 教育長 引頭課長。
- 生涯学習振興課長 まず各部門で部門の1位を決めます。その中で、1番いいものが市美展大賞になります。今年度は写真が市美展大賞だったので、写真部門の部門大賞がないということです。
- 教育長 そのほかよろしいですか。
ありがとうございました。

～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** それでは、議事については、2点報告がございました。終了したいと思います。

続きまして、その他の報告事項がございましたらお願いいたします。

まず、小中学校プールの適正化について、報告をお願いいたします。今谷教育次長。

○**教育次長** 教育総務課から小中学校プールの適正化についてお知らせさせていただきます。

本日机上のほうに資料を配付しておりますので、ご覧ください。小中学校プールの適正化については、今年3月に策定されました第6次下松市行財政改革に実施項目として掲げ、今後学校プールのあり方を検討していくこととしております。1の表は各学校プールの経過年数等を記載しております。本市は全ての学校にプールが設置されております。1番古いプールは末武中学校で62年を経過し、1番新しい東陽小学校でも36年を経過している状況です。

また、浄化装置については、古いもので28年を経過しております。

2の表では直近5年間のプール関連の支出状況を記しております。工事の有無で年度間のばらつきはありますけれども、最近5年間で小学校が約1,600万円、中学校が約2,300万円を支出しております。今後老朽化が進むにつれて支出は増大していくと見込まれます。学校プールの老朽化につきましては、国内の多くのプールが昭和40年代後半から50年代にかけて建設されていることから全国的に共通の課題となっております。そうした中、全国においては既に老朽化対策に取り組んでいる自治体もございまして、そちらを3番のほうに記載しております。裏面ご覧ください。3のほうに全国的な取組を記載しております。全国では改修、改築以外の方法として、学校プールの共同利用、公営プールや民営プールの活用といった取組がされております。取組それぞれにメリット、デメリットがありますので一概にどの取組がいいかというところの判断が難しいところだと感じております。

最後に4の今後の展開です。まず、1点目ですけれども、学校プールの現地調査を行い、老朽化状況を把握するというところで、こちらは令和3年度に建設部の協力を得て既に実施したところでございます。2点目が、3で説明しましたような全国的な取組事例について、コスト比較やシミュレーションなどを行いながら調査、研究を進めていきたいと思っております。3点目が、本件は水泳の授業に影響を及ぼす事案でございますので、それとまた併せて児童生徒数とか学校の所在の環境であるとか、それぞれ学校でいろいろな状況が異なることから学校と共通認識を図りながらその学校に最も適切な取組が選定できたらと思っております。こういった3点を踏まえながら、今後学校プールの適正化についての方針を策定していくという考えでおります。

なお、参考に行財政改革の年度別計画を載せております。令和7年度までにはプールの適正化計画を策定し、その後どのように取り組んでいくかというところが明らかに示すことができたと思っております。

以上です。

- 教育長** 小中学校のプールの適正化ということで、次長のほうから説明がございました。今後教育委員会の中でも大きな課題となってくる問題でございます。市としても、大きな財政が動くということで、市の意向も踏まえながら、子供たち、学校の実態を踏まえてよりよい形に進められたらということで今後方針は出していく予定でございます。またご意見等をお伺いしたいと思います。今何かありましたらお願いいたします。白木委員。
- 委員** 小学校、中学校、ひと夏に水泳の授業というのは何時間ぐらい受けるのですか。
- 教育長** 藤田学校教育課長。
- 学校教育課長** 小学校のほうでおよそ10時間、中学校のほうも同じ程度と言われております。特に、こうでなければならぬと決まったものはないのですけれども、文科省等が出している資料、実際の事例などを見ると10時間で授業を組んであります。以上でございます。
- 教育長** そのほか。江口委員。
- 委員** 知識として教えてほしいのですが、これからは新しいプールを作るとしたら、今のプールとどういった点が改善されて、便利になっているか。その点分かりますか。
- 教育長** 今谷教育次長。
- 教育次長** 学校のプールを作り替えたということですか。
- 委員** そうです。例えば衛生面とか水質とか水の消費量とか。
- 教育次長** 基本的に設備の方が新しくなるということで、衛生面はそれほど変わらないはずです。今も使用前には必ず先生方のほうで水質チェックなどをやっていただいております。機械が新しいものになる分、プラスチックな部分があるのかもしれませんが、目に見えて変わってくるというところは、今思いつきません。
- 委員** すみません。分かりました。中には、屋内プールがある学校が他市にはありますけれど、下松は全部屋外ですか。
- 教育長** 今谷教育次長。
- 教育次長** 全てのプールが屋外プールです。
- 教育長** そのほか何かございますか。林委員。
- 委員** それこそ新しいプールといたら、この前岩国に訪問したときに、岩国東小中学校は、屋根付き立派なプールがありましたけれど、やはり各学校にプールはあったほうが学校の運営としてはすごく楽だと思います。隣接する学校に行くとか、市営プールに行くとかになると、移動のことも考えないといけないし、時間のロスも考えると、プールはそれぞれの学校にあったほうが良いような気が私はしています。
- 教育長** これについての調査は、アンケートはやったのですか。今谷教育次長。
- 教育次長** 学校に対して、現時点で行ったことは各小学校、中学校校長会のほうに出向いて、今配っておりますプリントに基づいて同じ説明をしております。校長先生たちの反応といたしましては、全ての学校のプールを改修して維持管理していくことが難しい現状にも理解を示しておられました。今後、温水プールの建てかえとかいうことも市のほうで考

えておりますので、そういったところの利用ということも検討したいという話をお伝えしましたところ、それほどの目に見えたような反対の意見はございませんでした。それぞれメリット、デメリットがあって、やはり移動の時間については、授業がその分減りますから、そういったところはどうしてもデメリットだと思います。今、自校にある場合においても、水質の管理であるとか、負担が大きいという話もその場でされました。今後学校といろいろな協議をしていく必要があるというような状況です。

○**教育長** 林委員さんが言われたようなご意見も多々あると思いますので、その辺を現場の意見、学校意見をしっかり聞きながらまた今後方針を定めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

そのほかございますか。

ないようですので、プールの適正化については終わりたいと思います。

続きまして、山口県教育委員会教育功労者表彰、山口県選奨受賞の報告について説明をお願いします。河村教育部長。

○**教育部長** 令和4年度山口県教育委員会教育功労者表彰及び山口県選奨受賞をされた3名の方についてご報告をいたします。お配りしておりますA4の資料をご覧ください。

まず、学校歯科医宇都宮裕士様です。宇都宮様は昭和58年から39年間にわたり末武中学校の学校歯科医として献身的に保健指導に当たり、生徒の保健衛生、口腔衛生の向上に尽くされました。このたび学校保健の推進に関して山口県教育委員会教育功労者表彰を受賞されております。

次に、山口県文化財保護審議会委員を務められた梅田幸子様です。梅田様は平成16年に山口県文化財保護審議会委員に就任され、以来18年にわたり、山口県の文化財の保存、活用にかかる調査、審議に貢献されました。また、県指定無形民俗文化財切山歌舞伎の講演会会長として、その保存継承に積極的に活動を展開されていることなどにより、このたび芸術、文化、スポーツ功労により、山口県選奨を受賞されました。

最後に、学校歯科医田中悟様です。田中様は昭和53年9月から44年にわたり、深浦小学校、そして現在は下松小学校の学校歯科医として献身的に保健指導に当たり、児童の保健衛生、口腔衛生の向上に尽くされました。このたび、保健衛生、環境功労により山口県選奨を受賞されました。

3人の方にはこれまでのご尽力に感謝申し上げ、また、このたびのご受賞に心からお慶びを申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りしたいと思います。

報告は以上です。

○**教育長** 何かご質問等ございますか。

1つ聞いていいですか。教育功労と県選奨は1回受賞したら、もらえないとかあるのですか。教育部長。

○**教育部長** それぞれ表彰規則を見ますと、特にそういう取り決めはないのですが、いずれも学校保健とかあるいは教育・文化・衛生の振興等で顕著な功労があった方というこ

とです。田中悟様は以前教育功労者表彰を受けておられます。どちらからということではないかもしれませんが。

○**教育長** 分かりました。教育委員会は教育委員会で、県は県でやっぱり推薦があった者から選ぶということですね。分かりました。ありがとうございました。

そのほかございますか。

ないようですので、次に行きたいと思います。

そのほか何か報告事項がございましたらお願いいたします。金子課長補佐。

○**教育総務課課長補佐** 12月の行事予定をお伝えします。資料の3ページになります。

12月は定例会が、23日の金曜日1時半からとなります。

以上です。

○**教育長** ありがとうございました。これはいいですね、マグネットについて説明をお願いします。長弘図書館長。

○**図書館長** 先週末、11月20日の日曜日に図書館振興県民の集いをほしらんどで開催しました。図書館開設70周年、ほしらんどに移設して10周年という記念事業にしております。そのときに配布したバッジです。教育委員の皆様にも持ってきましたのでご活用ください。

○**教育長** ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第11回の教育委員会定例会会議を終了いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後2時終了